

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会
- 特別委員会

各常任委員会では、閉会中の所管事務調査や9月定例会で付託になった議案・陳情などについて審査を行いました。なお、特別委員会では継続事件について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

所管事務調査

○岡山県倉敷市

(調査事項)

指定管理者の選定方法に新たな方式「更新制」を導入

指定管理者制度を導入して以降、全体としてサービス水準が向上し、経費削減も実現できた」と評価している。

制度運用も安定しているようであるが、公益性や公平性に配慮しながらも、さらに競争性を高め、民間企業

環境リーダ―活動支援事業

○徳島県徳島市

(調査事項)

環境保全事業の一つであり、自主的な住民

等のノウハウを活用し、サービスの向上等を図るには指定管理者の運営の自由度を確保して、能力をさらに引き出すため、複数年契約を締結する形で財源を保証する更新制を導入していた。

主導型の環境保全活動や啓発活動に取り組み人材の育成、及び活動支援を実施することで、行政主導ではなく市民一人ひとりの主体的な取り組みを促進し、効果的に環境の保全を図るため、環境リーダ―養成講座や食をテーマとした環境講座などを行なっていた。



倉敷市での研修

☆平成24年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 旧恒吉中学校校便所棟新築工事費の便器の数は。

答 男子トイレの大きが一基、小が一基、女子トイレは大きが一基の計画である。

意見 女子トイレの大一基では対応できないのではないか、再検討すべきである。

問 小規模集落水道施設整備補助金は。

答 新たに神牟礼地区の追加申請に伴うものである。



曾於市クリーンセンター全景

意見 この事業は山村地区にとってライフラインである。戸数が少なくなければなるほど一戸当たりの負担は多くなるので、今後補助率等もアップして山村地区を守るべきである。

意見 今後において焼却炉等の多額な修繕が発生した生じた場合は、市民生活に密着するため早急に対処すべきである。

問 市クリーンセンターの焼却・粗大ごみ処理施設等修繕費は。

答 当初予算で2000万円計上していたが、修繕の発生により執行

予算は総計予算主義であり、長期計画に基づいて当初予算に組むべきものは組むことを基本にすべきである。

予算執行に当たっては節減をすべきである。

文教厚生常任委員会

(大川内富男委員長)

所管事務調査

○富山県射水市

(調査事項)

学力向上対策への取り組みについて

射水市は、全国的にも学力上位の富山県において、もともと学力の高い市である。

県では質の高い教育実現のため、小1、2年生では35人学級を中学1年生については35人学級、または少人数学級との選択制の導入を国の法改正に先立って実施している。

また、平成20年度より実施している「とやま型学力向上プログラム」は内容を拡充し、活動の推進母体を県から市町村に移し「書く活動」「話し合い」を重視した授業により表現力の向上、知識の定着を図っており、特に射水市は小・中9年間を

見据えて小学校2校・中学校2校の2グループの拠点校を設け、中1ギャップへの対応・指導内容やルールの共有化・小中学校間での相互授業参観など実践研究に取り組み、確実な成果をあげていた。

○石川県輪島市 (調査事項)

輪島市にある精神薄弱者授産施設「ふれあい工房あぎし」は、平成6年に閉校した小学校跡地を平成8年から利用し開設している。

跡地利用決定にいたる経緯は、能登地区に精神薄弱者施設が不足していたため、各種団体の代表により構成される学校統合問題検討委員会・地区住民全員参加型の地区懇談会で

の協議を経て、公募によらず行政主導により福祉施設として利用することが決定された。

また、当時の町長が後に施設を運営することとなる社会福祉法人の理事長を兼ねていたことも大きな要因である。

施設の運営状況は開設当初より行政からの補助があり、数年後には黒字に転換し、現在も順調に推移しているとのことであった。

なお、学校施設を他の用途に転換する場合、改修費用も含め多大な経費を要するため、行政による積極的な助成が行われている点は注目される点である。

☆曾於市生いき健康センターの設置及び管理に関する条例の制定について

本案は、そお生いき健康センターの建設に伴い、曾於市末吉福祉メセナ会館の設置及び管理に関する条例を廃止し、メセナ会館と一体的な施設の維持管理を行うため新たに条例を制定するものであり採決の結果、全会一致で可決すべきと決定した。

☆平成24年度一般会計予算(所管分)

問 児童相談システム開発委託料は。

答 児童虐待に結びつく可能性のある情報を集約・共有することにより、児童虐待の早期発見・予防を目的としている。

問 予防接種委託料は。

答 従来、ポリオワクチンとして径口生ワクチンを使用していたが、まれに副作用が現れる例があり、10月より安全性の高い不活化ワクチンを使用するためのものである。

問 文化財保護費のその他委託料は。



弥五郎どん制作過程

☆平成24年度国民健康保険特別会計予算

問 脳卒中プロジェクトモデル事業とは。

答 鹿兒島県は脳疾患による死亡率が高いため、県の要請により取り組み事業である。

食品モデルを使った栄養指導・頸部エコー検査による動脈硬化の早期発見等に取り組み医療費の抑制に努めたい。



小学校跡地を利用しているふれあい工房あぎし(輪島市)

建設経済常任委員会

(山下 諭委員長)

所管事務調査

○愛媛県八幡浜市

(調査事項)

曾於市は、東部畑かんは既に完成して通水している。北部畑かんもダムは完成し、県事業の進捗と平行して逐次水利用が可能となるが、通水あと後の水利用状況について調査研修。

当地区は柑橘の生産地であるが、畑かん事業が本市と根本的に違うのは地元住民からの切なる必要性による申請で工事が施工されていく、また生活用水(上水道)も兼ねていることで、水利用者の真剣さが伝わってきた。本市の莫大な経費を注ぎ込んでの事業であるので、行政も水利用予定者も有効に活用できる方法を真剣に考えておくべきである。

○香川県三豊市

(調査事項)

知名度向上プロジェクトに取り組んでいる同じ合併市である当市を調査研修。

先ず県内の人に市名や位置、特産物、観光地を覚えてもらうことから始め、根気強く市民全員がPRマンとなっていた。



三豊市での事務調査

☆平成24年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 地域商品券発行事業が新たに460万円計上されたが、内容は。

答 口蹄疫対策地域活性化事業助成金として、県内産牛豚肉消費拡大のため鹿兒島産業支援センターよりの2分の1助成を活用して100円のプレミアム付き商品券1枚600円を500円で4万枚を発行する事業の、肉類消費拡大商品券発行事業補助金である。

意見 取り扱う店舗が限定されるので、市民が平等に恩恵を受けられるような方法で実施されたい。

問 末吉地区農業研修センター管理費補正の

理由は。

答 当センターの食品加工指導員を臨時職員からシルバー人材センターへの委託に変更するものである。

意見 全ての同様施設の指導員には研修を受けさせることはもちろん、実際に指導できる人を雇用すべきである。

問 市単独で畜産基盤施設整備事業として各種の補助を行っている。パドック牛舎等はこの補助事業で設置されたものの高齢に伴い、畜産をやめられる農家もある中で、そういった農家の施設を調査し再利用の方法を講ずる等有効活用を図るべきである。

答 設置されている場所、種類、使用年数にもよるが、利用希望者があればその方向で対応していく。



プレミアム商品券

☆平成24年度曾於市公営下水道事業特別会計予算の補正

今回の補正は、消費税確定による納税額と下水道浄化センター修繕料の追加補正で、不足する財源は平成23年度決算繰越金の一部を充当するものである。

☆平成24年度曾於市水道事業会計の予算の補正

末吉上水道丸山地区の水量不足に対応してバイパス600mの水道管布設工事費1360万円の追加補正で、財源は過年度分損益勘定留保金や、利益剰余金で補てんする。

パークゴルフ場・フラワーパーク整備事業調査特別委員会

(渡辺利治委員長)

仮称パークゴルフ・フラワー公園に関する陳情書については採択、予定地については不適地と決定

第7回特別委員会は、平成24年9月19日、執行部、傍聴者48名の出席のもと全委員で審査。

☆「仮称パークゴルフ・フラワー公園に関する陳情書」の審査について

本陳情は、曾於市財部町南俣607番地、曾於市の活性化推進協議会代表 永吉正氏から提出されたものである。

陳情の内容は、『曾於市が観光イメージづくりに取り組み、地域の魅力拡大を図るためには、豊かな農村交流を促進する施設や、楽しさあふれる観光イ

メント等の組み合わせが重要であると考え。

仮称パークゴルフ・フラワー公園計画は、健康・自然・産業・観光振興等と密接なつながり・連携が図れる機能を持つことにより、曾於市振興の要として期待される。

よって、曾於市の特性を活かした地産地消とネットワーク形成を図り、観光・ふれあいの拠点として交流人口の増加による経済効果が期待できるような規模の計画を要望するものである。』

審査過程では、曾於市の人口は年々減少の過程をたどっており、今後、この事業を通じて、観光による市外からの交流人口の増加を図り、まちおこしを推進することが不可欠であり、

雇用等の面でもこの事業は必要な事業であるとの意見があった。

本委員会では採決の結果、本陳情は、賛成多数で採択すべきものと決定した。

しかし、予定地についての議論があり、その結果、本委員会では、本事業の場所の適否について賛否することになり、次のとおりの意見が出された。

- ・多額の維持管理費が必要で実施すべきでない。
- ・胡摩地区周辺は、ハエ、臭気がひどいと先入観があったが、現地調



特別委員会風景

査の結果、気にするほどでもなく胡摩地区を進めるべきである。

規模を縮小してでも計画を進めるべき。人口減少の中、まちおこしのための拠点として事業は必要である。

- ・フラワー公園はやめてパークゴルフ場、グラウンドゴルフ場は建設してよい。
- ・畜産振興上、胡摩地区以外で建設すべきである。

その結果、賛成少数で末吉町胡摩地区での建設は不適地と決定した。

※なお、11月5日臨時議会において賛成多数で予算執行凍結を解除すると決定した。



フラワーパークかごしま内を調査

事務調査

県内・市内において現地調査を行いました。(調査事項)

各施設の概要、管理・運営や入園者数の推移や、現状と課題と取り組み等

○県内現地調査
(7月13日に2箇所)
フラワーパークかごしま(指宿市)
高峠つつけ丘公園(垂水市)

○市内現地調査
(7月31日に5箇所)
大鳥峡(大隅町)

- ・弥五郎伝説の里(大隅町)
- ・栄楽公園(末吉町)
- ・高之峯(末吉町)
- ・城山公園(財部町)

○ハエ取り調査及び臭気調査を6日間かけて6箇所を実施。
(7月9日、19日、26日、8月3日、10日、17日)

- ・末吉町胡摩地区内4箇所
- ・四季祭市場
- ・高之峯地区